

# 市大授業

同日開催

学術情報総合センター施設見学会

## タイムスケジュール

12:00 > ...受付  
13:00 > 14:10 ...1時限目(文1A・文1B・理1C・理1D・理1E)  
14:40 > 15:50 ...2時限目(文2F・文2G・理2H・理2I)  
14:10 > 17:00 ...文学部学生とのフリートーク  
学術情報総合センター施設見学会  
※各コースの講義概要等については、裏面でご確認ください。

令和2年 **4月29日** 水・祝 13:00 > 17:00  
受付...12:00 >

## 文学部

を知りたい人の  
ための市大授業

ひらけゆく世界 みえてくる人間

## 数学や理科

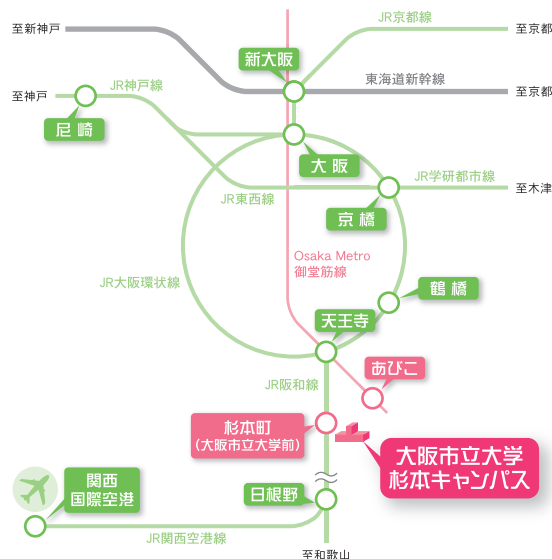
の好きな高校生の  
ための市大授業

参加費  
無料

### 会場

大阪市立大学 杉本キャンパス 各会場

(大阪市住吉区杉本3-3-138)



- JR阪和線「杉本町駅」東改札から徒歩約8分
  - Osaka Metro御堂筋線「あびこ駅」④号出口から徒歩約20分
- ※会場に駐輪場・駐車場はございません。必ず公共交通機関をご利用ください。  
※学内の食堂及び売店は祝日のため営業していません。

### 対象

高校生・保護者の方・本学に関心をお持ちの方

### 主催



大阪市立大学



大阪市立大学は2020年に  
創立140周年を迎えます。

### 申込締切

令和2年 **4月22日**(水)

### 定員

各コース 先着**150名**

### 申込方法

**A** Web、**B** 往復はがき、**C** FAX、いずれかの方法で**①～⑥**を記入の上  
お申し込みください。後日受講通知書をお送りします。  
申し込みの際は、下記の注意事項を必ずご確認ください。

- ①参加希望コース(1・2時限より1コースずつ選択可/例:文1A、理2H)
- ②氏名・ふりがな
- ③住所
- ④連絡先電話番号
- ⑤高校名
- ⑥新学年

#### A Web申込

「大阪市立大学 オープンレクチャーズ」で検索し  
お申し込み下さい。QRコードからも申し込みできます。  
※osaka-cu.ac.jpドメインからの申込完了メールを受信できるよう設定してください。



#### B 往復はがき申込

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学地域連携センター「市大授業」係  
※はがきの往信面に**①～⑥**を記入、返信面に返信先の住所・氏名をご記入下さい。

#### C FAX申込

**①～⑥**を記入し、FAX番号:06-6605-3505 までお送りください。

### 注意事項

- 教室に入り授業を受ける方それぞれのお申し込みが必要です。同伴者の方も、授業を受ける場合は別途お申し込みください。申し込みがない場合は、定員の都合上受講できないことがあります。
- 申し込み後、1週間経っても受講通知書が届かない場合はお問い合わせください。

※申し込みの際に伺った個人情報(住所や電話番号)は事務局やイベントのご案内のみに使用します。利用目的以外には一切使用いたしません。

### お問い合わせ先

大阪市立大学 地域連携センター

TEL:06-6605-3504(平日 9:00~17:00)

E-mail:kouza-shidai@ado.osaka-cu.ac.jp

## 文学部

### 1時限目 13:00~14:10

#### 文1A コース 国際的な視点から眺める日本の文学とは？

文化構想学科 アジア文化コース **堀 まどか** 准教授

アジアのなかの日本、あるいは世界のなかの一地方としての日本といった観点から、日本の近代文学を眺めてみると、一体どのような研究の可能性があるのでしょうか。本授業では、日本の歴史と文化の特徴を考えながら「境界」「境界者」ということをキーワードにして、高校で学んだ日本近代文学史のなかには出てこないような例を紹介しながら、大学で研究することの面白さを伝えていきたいと思ひます。

#### 文1B コース 科学からみた中国の社会—「歴史を学ぶ」から「歴史で学ぶ」へ—

哲学歴史学科 世界史コース **渡辺 健哉** 准教授

かつて中国では官吏登用試験として科挙が行われていました。その名称を聞いたことがある人は多いでしょう。では、その実状はいかなるものだったのでしょうか。そもそも受験勉強の仕方は？当時の受験参考書には何が書いてあったのか？出題内容は？どのように採点したのか？最新の研究成果を踏まえて、科挙の実態を明らかにします。そのうえで、大学で学ぶ歴史学について考えてみたいと思ひます。

### 2時限目 14:40~15:50

#### 文2F コース ドイツの学校で生徒は何を学ぶか

人間行動学科 教育学コース **辻野 けんま** 准教授

ドイツでは伝統的に、学校は昼に終わり、部活もなく、宿題を課することも禁止されています。また、職員会議には生徒の代表者たちが参加しています。こうしたしくみは、ドイツ社会の中では「常識」となっていますが、日本の「常識」とは違っています。ドイツでなぜこのような「常識」ができあがり、そこで生徒は何を学んでいるのでしょうか。外国を知ることで、逆に、私たちが「常識」として見過ごしていることが何かを考えます。

#### 文2G コース 閑月の詩歌—平安朝文学における季節感—

言語文化学科 国語国文学コース **山本 真由子** 准教授

平安朝の人々は、四季の移ろいをどのように捉え、文学作品に表わしていたのでしょうか。太陰太陽暦における閑月(うるうどし)に加えられる「閑月(うるうづき)」。その閑月に作られた詩歌を、暦との関わり、中国文学の影響などをふまえて読み解くことによって、平安朝文学を理解する上では欠かせない当時の季節感について考えます。

### 文学部学生とのフリースーク

協力：大阪市立大学文学部・文学研究科教育促進支援機構 **14:10~17:00**

現役大学生と楽しくお話ししよう！  
気になる学生生活も詳しくご紹介します。

1時限目終了後よりOPEN / 途中入退室自由(申込不要)



## 理学部

#### 理1C コース 代数方程式の解の存在

数学科 **濱野 佐知子** 准教授

実数の世界では「2次方程式の解」が「2次関数のグラフとx軸との共有点のx座標」になります。この方程式の変数を実数から、2乗したら負になる数もある複素数へ広げて遊んでみましょう。紙と鉛筆を用いて思考実験しながら複素変数の関数のグラフを介してビジュアル化することで、数を広げたこの世界では代数方程式の解が確かにある！と実感していただければ幸いです。

#### 理1D コース 生命機能を支える金属イオンの役割—化学者の視点—

化学科 **中島 洋** 教授

ヒトの体重の99%は炭素、窒素、酸素、水素、リン、カルシウムで占められ、金属、特に遷移元素と呼ばれる金属の割合は1%未満です。しかし、この金属が欠乏または過剰状態になると生命機能が乱れ、様々な病気に繋がります。この授業では、生命機能に重要な金属含有タンパク質の機能をいくつか紹介し、病気と金属、薬と金属の関係を化学の視点から眺めてみたいと思ひます。

#### 理1E コース 火山と熱水活動—プレートテクトニクスに伴う物質循環—

地球学科 **益田 晴恵** 教授

プレートテクトニクスは地球が生きている証拠です。これに伴って起こる大規模地震や火山噴火は私たちの生活を脅かす災害となりますが、一方で、美しい風景を作り、温泉や金属資源鉱床などの自然の恵みをもたらします。この授業では、南海トラフで行なった深海掘削や九州の活火山での調査風景を紹介し、また、調査で得られた試料の分析結果から見られる、物質の循環過程でおこる様々な現象と人間社会との繋がりについてお話しします。

#### 理2H コース ブラックホールが見えた？

物理学科 **石原 秀樹** 教授

昨年、ブラックホールの撮像に成功したことが報告されました。太陽系が属する天の川銀河の隣の銀河M87の中心にある巨大ブラックホールが見えた」とのことです。ブラックホールとは、そもそも何なのでしょう。何でも吸い込む天体？光すら出られない場所？光が出られないのにブラックホールは見えるのでしょうか。ブラックホールの不思議さについてお話しします。

#### 理2I コース 「見る」をひもとく—光や色を感じるしくみ—

生物学科 **寺北 明久** 教授

ヒトをはじめとするさまざまな動物は、目を使ってまわりの様子を光の情報としてとらえています。「見る」とき、目の中では何が起るのでしょうか？ヒトやいろいろな動物が、色を感じたり、奥行きを知る場合などを例に、光や色を感じるしくみを、光をキャッチするタンパク質に焦点をあてて説明します。また、なぜ錯覚が生じるのかについても考えてみましょう。

### 同日開催 施設見学会

**14:10~17:00** ※最終入館16:30

#### 学術情報総合センター(図書館)

自由学習のためのPCルームや、オープンな学習スペース「ラーニングcommons」も備えた国内最大級の大学図書館です。

